

Wireless Mirroring Adapter EHDMC10

ユーザーズガイド



安全にお使いいただくために 2
EHDMC10 でできること 6
同梱品 8
各部の名称とはたらき 8
DVD プレーヤーなどの映像を
MOVERIO で見る (Source 機能) … 11
MOVERIO の映像を
テレビなどで見る (Sink 機能) 18
設定
困ったときは
仕様一覧
商標について29
一般のご注意

Copyright©2017 Seiko Epson Corporation. All rights reserved. 2017.04

安全にお使いいただくために

本書には製品を正しく安全にお使いいただき、お客様や他の人への危害や財 産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と 意味は次のとおりです。内容を十分にご理解いただいた上で本文をお読みく ださい。

▲警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡ま たは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<u>▲</u> 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を 負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が 想定される内容を示しています。

▲警告

本書に表示されている電源電圧以外は使用しないでください。

電源ケーブルの仕様を確認してください。

適切な電源ケーブルを使用しないと、火災・感電の原因となります。

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹 き出し口など、異常に温度が高くなる場所に本機を放置しないでください。また、 動作温度範囲を超えたり、急激な温度変化が起こる環境で本機を使用・放置しな いでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあり ます。

本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。 こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

電源プラグの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。 取り扱いの際には、次の点を守ってください。

- たこ足配線はしない
- ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- ・ 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない
- ・ 同梱の電源(AC アダプター)以外は使用しない

破損した電源ケーブルは使用しないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重いものを乗せない
- ・ 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 電熱器の近くに配線しない

屋外や風呂・シャワー室など、水や雨のかかる恐れのある場所、湿度の高い場所 で使用・設置しないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、電源プラグにさわらないでください。

感電の原因となることがあります。

次のような異常のときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、 お買い上げの販売店、またはエブソンサービスコールセンターにご相談ください。

- ・ 煙が出ている、変な臭い、変な音がする
- ・ 本機の内部に水や異物が入った
- 本機を落としたり、ケースを破損した

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

サービスマン以外の方は、「本書」で指示している場合を除き、本機のケースを 開けないでください。また、本機(消耗品を含む)の分解・改造は絶対にしない でください。

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

本機を移動するときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、す べての配線を外したことを確認してから移動してください。

火災・感電の原因となることがあります。

湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるよう な場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

次のような場所には設置しないでください。

じゅうたん・布団・毛布などの上

毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない

ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをする恐れがあります。

お手入れの際は濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用し ないでください。

感電・故障の原因となることがあります。

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。

けがの原因となることがあります。

お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクターをコンセントから抜き、すべて の配線を外したことを確認してから行ってください。

感電の原因となることがあります。

本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。

絶縁劣化等により、火災の原因となることがあります。

本機を継続して使用するときは、人体から 22cm 以上離れた場所でご使用ください。

本文中の表記について

本文中で「MOVERIO」と記載している場合、BT-200 および BT-300/BT-350 を指します。

EHDMC10 でできること

EHDMC10は、MOVERIOと、HDMI 接続機器をワイヤレス(Miracast)で接 続するための製品です。

■レコーダーなどの映像をワイヤレス送信(Source 機能)

HDMI 出力を持つ DVD プレーヤーなどの映像コンテンツを送信して、 MOVERIO で再生できます。



■ MOVERIO の映像をワイヤレス受信(Sink 機能)

MOVERIO の映像コンテンツを受信して、HDMI 入力を持つテレビやプロ ジェクターなどで再生できます。



本機に MOVERIO を 2 台以上同時に接続することはできません。

注意: EHDMC10 を使用する前に以下をご確認ください

MOVERIO のシステムは最新版をご使用ください。

MOVERIO はシステムを常に最新の状態とするためにオンラインでシステ ムアップデートを行う機能を搭載しています。

MOVERIO 本体のシステムアップデート方法は MOVERIO 本体に付属のマニュアルをご確認ください。

EHDMC10のファームウェアは最新版をご使用ください。

最新のファームウェアに関する情報及びアップデート方法は EPSON ホームページより取得できます。

接続する機器が HDCP に対応していることを確認してください。

HDCP 非対応の機器では映像が表示されないことがあります。 HDCP とは、映像再生機器からディスプレイなどの表示機器にデジタル信 号を送受信する経路を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防 止する著作権保護技術の一つです。

EHDMC10は、電波やノイズの影響を受けない場所に設置してください。

以下の場所には設置しないでください。

- ・ 無線を搭載したアクセスポイントやノートパソコンの近く
- 電子レンジなどの電波を発する機器や DVD プレーヤーなどのモーター を有する機器の上、または近く

HDMI 接続対応機器の出力設定 (解像度)^{*1}を自動 (Auto) にするか、 本機の解像度^{*2} に合わせてください。

- ※1 項目名称は機種により異なります。(例:テレビへの出力解像度、映像出力設定、HDMI 解像度 など)
- ※2 本機の入力解像度は仕様一覧をご覧ください。

HDMI 接続対応機器の色設定^{※3}を自動 (Auto) にしてください。

- Deep color には対応していません。
- YCbCr には対応していません。

※3 項目名称は機種により異なります。(例:映像出力フォーマットなど)





HDMI ケーブルは同梱されていません。市販の HDMI ケーブルをご用意ください。

各部の名称とはたらき

背面



1 micro USB 端子

本機へ電源を供給するための端子です。同梱の micro USB ケーブルと AC アダプターを使って、コンセントに接続してください。

 Reset ボタン 本機を再起動するときに使います。 3 HDMI Output 端子

HDMI Input または Miracast で受信した映像を出力する端子です。

 4 HDMI Input 端子 他の機器から映像を入力する端子です。

ボタンとインジケーター



1 スライドスイッチ

Source 機能 /Sink 機能を切り替えます。

2 Wireless/Pass-Thru ボタン

本機の Pass-Thru[※]状態と接続待機状態を切り替えます。

※ Pass-Thru とは、本機の Input 端子に接続された機器からの入力信号を Output 端子に接続された機器へ出力する機能です。

[Source] 選択時:

映像の出力先を、MOVERIO(Miracast 接続)と HDMI Output 端子に接 続した機器との間で切り替えます。

[Sink] 選択時:

映像の入力元を、MOVERIO(Miracast 接続)と HDMI Input 端子に接続 した機器との間で切り替えます。 Wireless Connect ボタン 接続処理を行います。
 Wireless Ready インジケーター 点灯:無線接続利用可能 点滅:無線接続準備中
 Link インジケーター 点灯:無線接続完了

エラー時は、4と5が交互に点滅します。

点滅:無線接続処理中

DVD プレーヤーなどの映像を MOVERIO で見る(Source 機能)

1. 機器の準備

機器を接続する。

DVD プレーヤーなどの映像を出力したい機器の Output 端子と本機の Input 端子を接続してください。

※本機の Output 端子にテレビ等を接続すると、本機の状態が画面で確認できます。BT-300/BT-350 をお使いの場合は、必ず接続してください。

2 本機の電源をオンにする。

背面のマイクロ USB 端子に付属の USB ケーブルを接続し、AC アダプター を電源コンセントに接続して本機に電源を供給します。

MOVERIO の電源をオンにする。

MOVERIO のコントローラーの電源をオンにします。 電源をオンにすると「EPSON」→「MOVERIO」のロゴが画面中央に表示 された後、ホーム画面が表示されます。





本体左側面の切り替えスイッチを [Source] にする。



Wireless/Pass-Thruボタンを押す。
 映像出力先が、電源オン直後の Pass-Thru から Wireless に切り替わります。



Wireless-Ready インジケーターが青く点灯し、接続待機状態になっていることを確認する。

インジケーターが点灯し接続待機状態になるまで、約1分かかります。



- 3. MOVERIO との接続
- BT-200 での設定手順
- アプリー覧で [MOVERIO Mirror] をタップし、アプリケーション を起動する。



アプリケーション起動時に以下のような画面が表示されたら、[OK]を 選択して Wi-Fi Direct の操作を開始します。

Wi-Fi Direct		
Wi-Fi Directの操作を開始します。これによりWi-Fiクライアン ト/アクセスポイントの操作がOFFになります。		
キャンセル	ок	

 [MOVERIO Mirror] 画面で、右上の [Sink] が選択され、オレンジ 色になっていることを確認する。

[Source] が選択されオレンジ色になっている場合は、[Sink] に変更します。



● 画面上段の [接続機器] をタップし、[設定] 画面を起動する。



 【設定】画面で「その他」をタップし、[WiFi Direct]のチェックボッ クスにチェックを入れてから、「EHDMC」で始まる接続先をタッ プする。

「利用可能」→「接続済み」になったら接続可能です (Link インジケーター が青く点灯します)。

er ike		H.S.
無線とネットワーク	Wi-Fi Direct	
🗣 Wi-Fi 🛛 OFF /	EPSON_B1200_9148 使用可数なデバイス	
8 Bluetooth	EHDMC1-006163	•
◎ データ使用		
その魚		
ask.		
4 1 B		

接続機器の映像が BT-200 に表示されます。

■ BT-300/BT-350 での設定手順

● アプリー覧で[設定]を選択し、[設定]画面を起動する。



② [設定] メニューの [端末] で [ディスプレイ] を選択し、[キャスト画面の表示] を選択する。

-						• 1 12.0
	朝るきのレベル					
	納るさわ合数詞的 用目に合わせて用るさを重添たする				- 12	
	9246					
	スリープ 通行で行ったいと見知て相違法					
	スクリーンセーバー					
	フォントサイズ 中					
	第三のキャスト					
	キャスト創業の表示					
		Δ	0	D		

BT-300/BT-350に以下の画面が表示され、接続待機状態になります。



ワイヤレスミラーリングアダプター本体に接続している TV 等に表示されている画面の右下部を確認し、接続したい MOVERIO の名前が "Peers Available(WFD Source/Other)"の下に表示されているかどうかを確認する。

MOVERIO 以外の機器が同時に表示されている場合、他機器の Miracast 機能をオフにし、MOVERIO の名前が一番上に表示されるようにしてく ださい。



Wireless Connect ボタンを押す。
 Link インジケーターが青く点灯します。



⑤ BT-300/BT-350 で、[接続への招待]の[同意する]を選択する。



接続が確立されると、BT-300/BT-350 に「接続完了 ...」が表示されます。



接続機器の映像が BT-300/BT-350 に表示されます。



MOVERIO の映像を テレビなどで見る(Sink 機能)

1. 機器の準備

機器を接続する。

テレビなどの MOVERIO からの映像を表示したい機器の Input 端子と本 機の Output 端子を HDMI ケーブルで接続してください。 接続した機器の入力切替が HDMI に設定されていることを確認してくだ さい。

2 本機の電源をオンにする。

背面のマイクロ USB 端子に付属の USB ケーブルを接続し、AC アダプター を電源コンセントに接続して本機に電源を供給します。

3 MOVERIOの電源をオンにする。

MOVERIO のコントローラーの電源をオンにします。 電源をオンにすると「EPSON」→「MOVERIO」のロゴが画面中央に表示 された後、ホーム画面が表示されます。





● 本体左側面の切り替えスイッチを [Sink] にする。



Wireless/Pass-Thruボタンを押す。
 映像出力先が、電源オン直後の Pass-Thru から Wireless に切り替わります。



Wireless-Ready インジケーターが青く点灯し、接続待機状態になっていることを確認する。

インジケーターが点灯し接続待機状態になるまで、約1分かかります。



● Output 端子に接続している機器に以下の画面が表示され、接続待 機状態になっていることを確認する。



- 3. MOVERIO との接続
- BT-200 での設定手順
- アプリー覧で [MOVERIO Mirror] をタップし、アプリケーション を起動する。



アプリケーション起動時に以下のような画面が表示されたら、[OK]を 選択して Wi-Fi Direct の操作を開始します。

Wi-Fi Direct		
Wi-Fi Directの操作を開始します。これによりWi-Fiクライアン ト/アクセスポイントの操作がOFFになります。		
キャンセル	ок	

 [MOVERIO Mirror] 画面で、右上の [Source] が選択され、オレ ンジ色になっていることを確認する。

[Sink] が選択されオレンジ色になっている場合は、[Source] に変更します。



⑥ 画面上段の [接続機器] をタップし、[設定] 画面を起動する。



 [設定] 画面で [その他] をタップし、[WiFi Direct] のチェックボッ クスにチェックを入れてから、「EHDMC」で始まる接続先をタッ プする。

「利用可能」→「接続済み」になったら接続可能です (Link インジケーター が青く点灯します)。

E IQE		HE
無線とネットワーク	Wi-Fi Direct EPSON_BT200_914e	×
🗣 Wi-Fi OFF	使用可能なデバイス	
Bluetooth orr	EHDMC1-006163	
⑦ データ使用	Rinin .	
その他		
58.*		
€ 1 #		

接続機器に BT-200 の画面が表示されます。

※表示できるコンテンツのフォーマットは MPEG2(H.264+AAC)のみとなります。コンテンツが表示できない場合は、コンテンツのフォーマットをご確認ください。

■ BT-300/BT-350 での設定手順

● アプリー覧で[設定]を選択し、[設定]画面を起動する。



❷ [設定] メニューの [端末] で [ディスプレイ] を選択し、[画面のキャスト] を選択する。

-			1 124
	明るさのレベル		
	416350世間の 周期に含わせて約42を振進化する	(2	
	12 M		
	スリーブ 地内が50月以10回で4回線		
	スタリーンセーバー		
	7x>>>94X		
	BB0++2.b		
	弓原の遮面イス +ホ		
	√ 0 0	1	

 画面右上のボタンを押し、「ワイヤレスディスプレイの有効化」を チェックする。



④ リストに表示された「EHDMC」で始まる接続先をタップする。

「利用可能」→「接続済み」となったら接続可能です (Link インジケーター が青く点灯します)。

8.0		4 🗘 🖬 22.9
*	重要のキャスト	ワイヤレスディスプレイの有効化 四
	BHDMC1-006163 SHERIN	
	68864467 2 4 79 1/2 2 4 3 27 1/4	
	00000735 2179625112761	
	EEFEA100	

接続機器に BT-300/350 の画面が表示されます。

【補足】 Wireless インジケーターとLinkインジケーターが交互に点滅し接続エラー が発生している場合、もしくは接続が完了しない場合は、以下の操作を行っ てください。 操作1 Wireless/Pass-Thru ボタンを押して Pass-Thru モードに変更す る。 Wireless-Ready インジケーターが消灯します。 BT-300/BT-350 の BACK キーを押して設定画面に戻る。 Wireless-Ready インジケーターが点灯します。 P1:30 の手順に戻り、再度接続する。 操作2 (操作1で接続できない場合) Reset ボタンを押して再起動を行ってから、再度接続してください。

設定

MOVERIO やお使いのコンピューターの Web ブラウザーから、本機の設定が できます。

本機の Wireless/Pass-Thru ボタンと Wireless Connect ボタンを、同時に 5 秒以上押します。

本機が設定モードになります。HDMI Output 端子に接続している機器に、 本機の IP アドレスが表示されます。

設定モードになると、本機の Wireless Ready インジケーターと Link イン ジケーターが同時に点滅します。

Web ブラウザーのアドレス入力欄に、本機の IP アドレスを入力します。

設定画面が表示されます。

3. 必要な設定をします。

項目	機能
Power Saving	パワーセーブモードのオン / オフを選択しま す。
Software Update	本機のファームウェアを更新します。 最新のファームウェア情報は、http://moverio. jp をご確認ください。

※パワーセーブモードの設定は、出荷時にオフになっています。

映像の送受信ができない

- ・ micro USB ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
- AC アダプターがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
- ・ 接続機器が HDMI Input 端子または HDMI Output 端子に正しく接続されて いることを確認してください。
- ・ HDMI Output 端子に接続している機器の入力切替を HDMI に設定している ことを確認してください。
- 本機と MOVERIOの、Sink または Source 機能が正しく設定されていることを確認してください。
- ・ 接続する機器が HDCP に対応していることを確認してください。HDCP 非 対応の機器では映像が表示されないことがあります。
- パワーセーブモードがオンに設定されている場合、接続待機状態で15分間信号が入力されないときは、接続状態が解除されます、もう一度接続を行うときは、Wireless Pass-Thruボタンを押してください。
- Wireless インジケーターと Link インジケーターが交互に点滅し接続エラー が発生している場合、もしくは接続が完了しない場合は、以下の操作を行っ てください。

【BT-300/BT-350 での操作手順】

操作1

- 1. Wireless/Pass-Thru ボタンを押して Pass-Thru モードに変更する。 Wireless-Ready インジケーターが消灯します。
- 2. BT-300/BT-350 の BACK キーを押して設定画面に戻る。
- 3. Wireless/Pass-Thru ボタンを押して接続待機状態にする。 Wireless-Ready インジケーターが点灯します。
- 4. P.15 2 または P.23 2 の手順に戻り、再度接続する。

操作2(操作1で接続できない場合)

Reset ボタンを押して再起動を行ってから、再度接続してください。

【BT-200 での操作手順】

Reset ボタンを押して再起動を行ってから、再度接続してください。

- ・ MOVERIO を使用している場合、本機と接続している状態で Wi-Fi を使った アクセスポイントへの接続はできません。
- MOVERIO を使用している場合、MOVERIO 本体のWi-Fi Direct 機能がオンになっていることを確認してください。Wi-Fi 機能がオンになっていても、Wi-Fi Direct 機能がオフのときは通信できません。

音声が出ない

- ・映像を再生している機器の音量を確認してください。
- BT-200 の映像を受信するときは、MOVERIO Mirror で映像を再生している ときのみ、受信機器で音声が再生されます。詳しくは BT-200 ユーザーズ ガイドをご覧ください。

仕様一覧

端子	micro USB x1(電源用) HDMI Input x1 HDMI Output x1
入力解像度	HDMI: 640x480p@60Hz (BT-200のみ対応) 720x480p@60Hz (BT-200のみ対応) 720x576p@50Hz (BT-200のみ対応) 1280x720p@50/60Hz 1920x1080p@24/30Hz Miracast: 640x480p@60Hz 1280x720p@25/30Hz
電源	Power (AC adapter) 100 to 240 VAC ± 10% 50/60Hz Power (EHDMC10) 5 VDC
消費電力	Miracast 通信時:5W パワーセーブ時:0.3W
動作環境	温度:+5 to +35℃ 湿度:20 to 80%(結露しないこと)
保存環境	温度:-10 to +60 ℃ 湿度:10 to 90% (結露しないこと)
外形寸法	115 x 115 x 30 mm

質量	150 g
無線仕様	無線規格:IEEE 802.11 b/g/n 無線周波数帯:2.4 GHz 帯 1 to 13 モジュレーション:OFDM、DS-SS 想定到達距離:10 m

商標について

Miracast[™]は、Wi-Fi Alliance の商標です。 HDMI は、HDMI LicensingLLC の商標または登録商標です。

一般のご注意

無線 LAN 使用についての注意事項

フランスでは、無線 LAN は屋内でのみ使用可能です。

北米・台湾以外で本製品をお買い求めの場合、無線 LAN が 1-13 チャンネル の電波を発するため、1-11 チャンネルのみの使用が電波法上制限されている 北米・台湾では無線 LAN は使用できません。

その他地域でご使用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。

電波法による規制

各国の電波法により次の行為は禁止されています。

- ・ 改造及び分解(アンテナ部分を含む)
- 法的適合表示の消去

使用限定について

本機は販売国の仕様に基づき製造されています。本機を販売国以外で使用す る場合は最寄りのサポート窓口で確認をしてください。本機を航空機・列車・ 船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置な ど機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用さ れる場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェー ルセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご 配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本機は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極 めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりません ので、これらの用途には本機の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、 ご判断ください。

周波数についてのご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の ほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免 許を要する無線局)および、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、な らびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定 小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確 認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置など(たとえば、パーティションの設置など)について相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュ ア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困 りのことが起きたときは、販売店へお問い合わせください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JISC61000-3-2」に適合しています。